

支援プログラム

作成日 2025 年 3 月 31 日

事業所名 ACO放課後等デイサービスふれんど

法人（事業所）理念	子ども、保護者が抱える様々な問題に対して、問題の改善、解決の方向に支援する。心身ともに健康を取り戻し、充実した生活を送れるよう専門家が支援する。		
支援方針	発達の視点を持ち、発達障害の知識を有して子どもとの支援に関わる。子どもたちや保護者に有効な支援として、アセスメントを基に個別支援・小集団SSTなどを提供する中で各々の課題に共に向き合い、子どもも保護者も活き活きと活動できるようになることを目指す。		
営業時間	月曜日～金曜日：10:00～19:00、土曜日：10:00～19:00	送迎の有無	無し
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	【児童発達】入室時には手洗い、排泄を促し、時間や空間を本人に分かりやすく示した環境下で、生活に必要な基本的技能の獲得を目指す支援を行う。 【放課後等デイサービス】入室時に検温、手洗いを促すと同時に、各自の様子を把握し疲労具合や体調面での気づきを児童・保護者とも共有する。	
	運動・感覚	【児童発達】姿勢の保持やトランポリンやボール遊び等の粗大運動や鉄を使ったりひも通しなどの微細運動課題に取り組む。 【放課後等デイサービス】個別支援では、主に認知作業トレーニングや粗大運動・微細運動を行い、各自のボディイメージや力加減の獲得を目指す支援を行う。小集団SSTクラスにおいても同様に、認知作業トレーニングを通して、身体を知ること、物の扱い方、力加減、動きを言葉で伝えるなどの練習を行っていく。	
	認知・行動	【児童発達】形・色・音の変化や数量や大きさなど認知や行動の手掛かりとなる概念形成の習得。適切な行動を練習する機会を提供する。 【放課後等デイサービス】個別支援・小集団SSTにおいても「見る」「聞く」「想像する」力を育む認知機能強化トレーニングを行う。小集団SSTでは、問題となる様々な場面を取り上げて、その状況の捉え方や理解・判断を振り返り、適切な行動を考え、皆でそれを共有したりロールプレイを通して経験を積む機会を提供する。	
	言語 コミュニケーション	【児童発達】言葉の発声や模倣、ジェスチャーなどの非言語的な課題の理解、自分の気持ちを伝えたり他者からの発信の理解を促す課題に取り組む。 【放課後等デイサービス】言葉で気持ちを伝えたり、非言語的なコミュニケーションの理解を促す関わりをし、周囲との適切なやり取りをする力を養う課題を提供する。	
	人間関係 社会性	【児童発達】他者と協力をしたり、自分の気持ちのコントロールをする手掛かりとなる力を育む課題を提供する。待つことや次の行動への切り替えの練習なども行っていく。 【放課後等デイサービス】小集団SSTではその場に合った言動を考えたりロールプレイをする機会を提供し、自身の言動の振り返りや共有を他者で行うことにより、実際の生活場面において、当人が安心して過ごし、適切な行動がとれるように練習をしていく。	
家族支援	ご家族の困りごとや不安に思うことなどを聴き、児童の支援に向けて、より良い方向性を見出せるように支援する。また、ご家庭家族や学校の状況に合わせて延長支援を行う。	移行支援	児童に必要な情報を収集したり、適宜、ご家族に情報提供を行っていく。保育所等訪問支援等を通じて、学校や関連機関との連携を図り、児童が安心して生活を送れるように支援する。
地域支援・地域連携	ご家族を通じて学校の様子を伺い、より良い支援方法を家庭・学校・関係機関と連携して行う。	職員の質の向上	毎月、事例検討会・勉強会のいずれかを実施し支援の質の向上を目指す。報連相の徹底と情報共有により、事業所全体で一貫性のある支援の質を維持していく。
主な行事等	保護者会、防災訓練、秋祭り、親子でキッチン、季節のお芋ほり（夏：じゃがいも・秋：さつまいも）、夏休み工作イベント、長期休み宿題イベント など		